教員の欠員状況について

義務教育課
特別支援教育課
高校教育課

１　小学校・中学校

〇令和７年５月１日現在、「欠員数」は 40 名である。その内、欠員対策教員 15 名の配置により、「実際の欠員数」は 25 名である。

〇欠員の理由は、講師の確保ができないためである。

〇「実際の欠員数」への対応

・小学校：通常学級担任の欠員３名に対しては教頭が対応。その他の欠員 11 名に対しては、他の教員が学級に入ったり、授業を行ったりしている。

・中学校：通常学級担任の欠員はいない。その他の欠員 11 名に対しては、他の教員が学級に入ったり、授業を行ったりしている。

※ その他の欠員 ･･･ 特別支援学級担任、専科

校種	実際の欠員数			内訳					
				欠員数			欠員対策教員数		
	R7	R6	差	R7	R6	差	R7	R6	差
小学校	14	24	−10	28	28	0	14	4	10
中学校	11	7	4	12	8	4	1	1	0
合計	25	31	−6	40	36	4	15	5	10

※ R7、R6 ･･･ 各年度の５月１日現在の人数

〇欠員対策のための教員配置事業の概要（R7）

・年度途中で急遽欠員が生じた場合に備え、16 名の欠員対策教員をあらかじめ配置（R6:9 名）

・欠員対策教員は、授業や担任業務等を担う。

２　特別支援学校

〇令和７年５月１日現在、特別支援学校の欠員数は 13 名。令和６年度比、+５名である。

〇欠員の理由は、講師の確保ができないためである。

〇学級担任の不足に対しては、自立活動専任や各部の部長等が学級に入りサポートしている。

校種	欠員数		
	R7	R6	差
特別支援学校	13	8	5

※　R7、R6…各年度の 5 月 1 日現在の人数

３　高等学校

〇令和７年５月１日現在、高校の欠員数は３名。令和６年度比、－３名である。

〇欠員の理由は、講師の確保ができないためである。

〇３名のうち２名は、非常勤講師対応としている。

※ ３名のうち２名は６月中に代替者が入る予定である。

校種	欠員数		
	R7	R6	差
高校	3	6	-3

※　R7、R6…各年度の 5 月 1 日現在の人数